



新型コロナウイルスにより影響がある酪農支援策として
**市立学校の小・中学生に牛乳を提供し
消費拡大を図ります**
(併せて小・中学生の栄養を支援します)



ターゲット 2.4

令和2年5月13日
郡山市農林部
園芸畜産振興課
担当：阿部 健司
TEL：924-3761

SDGs ターゲット 2.4 「持続可能な食料生産システムを確保し、強靱（レジリエント）な農業を実践する」

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市立学校の一斉臨時休業及び、それに伴う学校給食の停止期間の延長により、学校給食用牛乳の消費が減少し、供給予定の製品が在庫となる等、酪農家及び乳業メーカーの経営に大きな打撃を与えています。

この対策として、分散登校を実施する期間を活用し、小・中学生に牛乳を提供することにより、牛乳の消費拡大を図るとともに、小・中学生にとって必要な栄養の不足を補います。

- 1 実施期間 市立学校の分散登校期間のうち
令和2年5月18日(月)から5月22日(金)まで
- 2 実施場所 市立学校 76校
- 3 対象者 分散登校をしている市立学校の児童・生徒等 約27,000人
- 4 実施方法 分散登校日(1人あたり2回/週)の昼食時に牛乳(200ml)を提供する。
- 5 提供本数 27,000人(対象者数)×2回(提供回数)=54,000本
- 6 事業効果 (1) 学校の完全再開までの期間における、小・中学生への栄養支援
(2) 将来的に安定的な生乳の流通再開に向け、酪農家及び乳業メーカーに対し、経営支援の一助となる。